

中島 一平

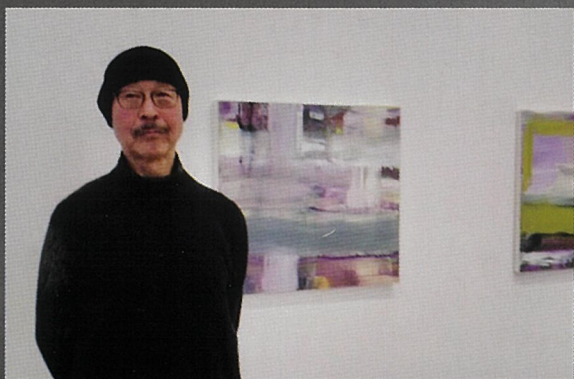
色彩の響きと78枚の手紙

IPPEY NAKAJIMA : Resonance of Color & 78 Letters

2026年10月4日[日]-10月30日[金]

午前9時 - 午後5時 火曜日休館

入場無料



中島 一平 | なかじま いっぺい

1948年 京都市に生まれる。
1967年 大阪府立茨木高校卒業。(在校中、創立70周年記念で川端康成の講演を聞く)
1972年 京都市立芸術大学西洋画科卒業。
1973-76年 環境事業計画研究所勤務、主に外部空間の設計にあたる。
1970年代後半から色彩的な抽象絵画の可能性を探索する制作活動を始める。
1986-92年、95-99年 京都市立芸術大学で、2000-13年 京都造形芸術大学で非常勤講師として絵画の実技指導にあたる。
また茨木市内で「中島美術教室」を主宰し子供たちに絵や造形の楽しさを伝えた。

主な展覧会 |

1984年 アート・ナウ'84 (兵庫県立近代美術館)
1985年 アートフロント50 西風のコロンブスたち (心斎橋パルコ、大阪)
1986年 戦後生まれの作家たち (宮城県美術館)
1990年 Facades Imaginaires (グルノーブル市、フランス)
1991, 94, 97年 大阪港レンガ倉庫の大規模な空間で個展
1993年 KARUIZAWA DRAWING BIENNALE (脇田美術館、長野/丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、香川)
2004年 「浜屋敷における試み」(吹田歴史文化まちづくりセンター)では伝統的な日本家屋全体に作品を配置
2006年 Galerie PICI 三氏展 (ソウル、韓国)
2009年 「Drawings 進行形の断面」(海岸通りギャラリー CASO、大阪市)
2010-18年 ギャラリー白でのペインタリネス展(大阪市)に参加
2014年 「On the Wall」(神戸市)ではギャラリー壁面に直接描く現地制作
2015年 With Painter 下町芸術祭(神戸市長田)では路上ライブペインティングで大作を制作
2023年 ART OSAKA Expanded 部門(大阪南港 名村造船所跡地)
2024年 現代美術-茨木50回記念展(茨木市文化・子育て複合施設「おにクル」他)に参加
2026年 「進行形の絵画」(2kw gallery、大津市)油彩新作展

他に、大阪、京都、神戸、東京、奈良などで個展多数。

また「現代美術-茨木」展に実行委員として長年参加。

受賞・パブリックコレクションなど |

第2回吉原治良賞コンクールでグランプリを受賞

第15回日本国際美術展で美術館特別賞を受賞

作品は大阪府立現代美術センター、兵庫県立美術館などに収蔵されているほか、

茨木市立上中条青少年センター2階ラウンジ壁画「CLAY WORK '85」などを制作した。

川端康成文学館ギャラリー企画「中島一平作品展―色彩の響きと78枚の手紙―」を開催します。
中島一平氏は1970年代後半から美術家として多彩な活動を展開し、1985年には川端康成文学館併設の上中条青少年センター2階ラウンジの壁画「CLAY WORK '85」を制作。青少年の純粋な心とエネルギーを土の質感と炎の変化で表現した壁画は、センターのシンボルとなっています。
本展では「CLAY WORK '85」制作当時の空気感を伝える80年代の作品から、新作「78枚の手紙」まで、中島氏の40年にわたる創作の軌跡をたどります。文学館ギャラリーという舞台で奏でられる「色彩の響き」をお楽しみください。



茨木市立 川端康成文学館
Ibaraki Municipal Kawabata Literature Hall



〒567-0881 大阪府茨木市上中条二丁目11-25
TEL 072-625-5978 FAX 072-622-9858

アクセス

JR 総持寺駅から1.0km、JR 茨木駅から1.4km
阪急茨木市駅から1.3km、名神茨木ICから車で約7分
駐車場有、最初30分無料以降30分毎100円、大型バス要連絡

この印刷物は2,000枚作成し、
1枚あたりの単価は47.13円です。

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

リサイクル適性 A